



平成23年1月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年8月24日

上場会社名 株式会社タカショー 上場取引所 JQ
 コード番号 7590 URL http://takasho.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)高岡 伸夫
 問合せ先責任者 (役職名)取締役経営管理本部長 (氏名)寒川 浩 TEL 073(482)4128
 四半期報告書提出予定日 平成22年9月3日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年1月期第2四半期の連結業績(平成22年1月21日～平成22年7月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年1月期第2四半期	7,080	△5.4	517	△18.1	485	△23.9	274	△25.3
22年1月期第2四半期	7,482	—	632	—	637	—	367	—

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
23年1月期第2四半期	32	38	—	—
22年1月期第2四半期	43	32	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭	
23年1月期第2四半期	11,170		4,383		38.9	512	03	
22年1月期	9,322		4,206		45.1	496	05	

(参考) 自己資本 23年1月期第2四半期 4,341百万円 22年1月期 4,206百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
22年1月期	—	—	0	00	14	00
23年1月期	—	—	0	00	—	—
23年1月期(予想)			—	—	14	00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成23年1月期の連結業績予想(平成22年1月21日～平成23年1月20日)

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	12,946	1.5	619	6.7	570	△2.4	345	16.6	40	68

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P. 4「その他」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 有

新規 1社（社名）浙江正特高秀園芸建材有限公司、除外 1社（ — ）

（注） 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

（注） 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 無

② ①以外の変更 : 無

（注） 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年1月期2Q	8,679,814株	22年1月期	8,679,814株
23年1月期2Q	199,904株	22年1月期	199,864株
23年1月期2Q	8,479,948株	22年1月期2Q	8,479,980株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

（注意事項）

- ・ この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。
- ・ 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算定しており、今後の経済状況等の変化により、実際の業績は予想値と異なる結果となる場合があります。業績予想に関する事項は、四半期決算短信（添付資料）3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
【第2四半期連結累計期間】	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

※ 当社は、以下のとおり投資家向け説明会を開催する予定です。
・平成22年8月27日(金)・・・機関投資家・アナリスト向け決算説明会

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間(平成22年1月21日～平成22年7月20日)におけるわが国経済は、輸出の緩やかな増加や消費者マインド改善の動きなどにより、景気は着実に持ち直しているものの、欧州市場の金融不安の影響から円高、株安が進行し、国内におけるデフレの影響、依然として厳しい雇用情勢など、先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社を取り巻くガーデニング業界におきましても、住宅施策や税制面での優遇処置の影響もあり、低迷を続けてきた建築着工戸数に下げ止まり感が見られ、さらに長期金利の低下も住宅投資の追い風となり持ち直しの兆しがあるものの、依然として低水準な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは、ガーデンは家での暮らしにおける5番目の部屋である「5thROOM」(フィフスルーム)を提唱し、新商品のラインアップ充実と市場への啓発活動に注力いたしました。また今期より夜の庭を演出する「光」について住む人の生活習慣や庭のスタイルに合わせて、目的・効果を的確に提案・施工することで庭の付加価値を高めることを目的に、庭に従事される業者を対象に研修を通じて認識を深める当社認定制度である「エクステリア&ガーデンライティング」マイスター制度を開始いたしました。

売上高につきまして、プロユース部門では、夜の庭を演出する「光」について当社認定制度である「エクステリア&ガーデンライティング」マイスター制度の開始や家と庭をつなぐ空間となる「ポーチガーデン」シリーズが順調に売上げを伸ばしたことから、前年同四半期と比べ増加いたしました。

ホームユース部門では、異常気象により春の立ち上がりが大幅に遅れたこと、天候不順による夏物商材の販売が低迷したこと、取引先の会計制度の改正等により在庫圧縮が進められ新規導入が厳しい状況が続いたことから、前年同四半期と比べ減少いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間は、売上高7,080,729千円(前年同四半期比5.4%減)、営業利益517,480千円(前年同四半期比18.1%減)、経常利益485,435千円(前年同四半期比23.9%減)、四半期純利益274,552千円(前年同四半期比25.3%減)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結累計期間末における資産合計は11,170,727千円(前連結会計年度末と比べ1,848,119千円増)となりました。

流動資産においては、ガーデニングシーズン立ち上がりの売上増加に伴い受取手形及び売掛金が3,489,405千円(前連結会計年度末と比べ1,101,418千円増)となりました。現金及び預金において売上代金の現金化が進んだことと、上半期の投資計画に基づき調達した資金が計画の遅れにより留保されたことにより2,075,521千円(前連結会計年度末と比べ511,997千円増)となりました。

流動負債においては、販売に向けての商品調達が先行して行われることから支払手形及び買掛金が2,149,313千円(前連結会計年度末と比べ907,846千円増)となりました。

固定負債においては、上半期の運転資金の調達および投資計画に基づく調達により長期借入金が1,686,257千円(前連結会計年度末と比べ671,051千円増)となりました。

純資産においては、4,383,686千円(前連結会計年度末と比べ176,887千円増)となりました。これは四半期純利益が274,552千円あったものの、利益処分による配当の支払いが118,719千円あったことによるも

のです。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、売上債権が増加したものの、税金等調整前四半期純利益の増加および長期借入金の増加等により前連結会計年度末に比べ511,997千円増加し、2,075,521千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の減少は、17,707千円(前年同四半期は327,093千円の増加)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益が476,834千円(前年同四半期は605,707千円)あったものの、法人税等の支払額が281,183千円(前年同四半期は80,317千円)および売上債権の増加額1,128,966千円(前年同四半期は1,569,320千円の増加)があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の支出は、123,211千円(前年同四半期は21,375千円の支出)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出61,348千円(前年同四半期は32,629千円の支出)および無形固定資産の取得による支出72,103千円(前年同四半期は3,269千円の支出)があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の収入は、667,779千円(前年同四半期は26,366千円の支出)となりました。これは主に、設備投資計画に基づく調達を含む長期借入れによる収入1,425,802千円(前年同四半期は700,044千円の収入)があったことによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年3月5日に公表いたしました平成23年1月期の業績予想を修正いたしました。詳細につきましては平成22年8月12日に開示いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

当第2四半期連結会計期間において、浙江正特高秀園芸建材有限公司を新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

(簡便な会計処理)

固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、当連結会計年度に係る減価償却費を期間按分して算定する方法によっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理)

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年7月20日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年1月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,075,521	1,563,523
受取手形及び売掛金	3,489,405	2,387,986
商品及び製品	1,851,471	1,803,318
仕掛品	121,132	107,657
原材料及び貯蔵品	367,112	357,648
繰延税金資産	150,331	141,656
その他	235,351	163,124
貸倒引当金	△15,386	△55,230
流動資産合計	8,274,940	6,469,685
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,545,660	1,600,996
土地	304,445	304,445
建設仮勘定	173,651	132,971
その他(純額)	91,410	90,036
有形固定資産合計	2,115,167	2,128,450
無形固定資産		
のれん	11,120	16,452
その他	145,476	80,198
無形固定資産合計	156,596	96,650
投資その他の資産		
投資有価証券	66,770	69,978
繰延税金資産	1,541	1,557
その他	580,534	570,731
貸倒引当金	△24,824	△14,445
投資その他の資産合計	624,021	627,821
固定資産合計	2,895,786	2,852,922
資産合計	11,170,727	9,322,608

(単位:千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年7月20日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年1月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,149,313	1,241,467
短期借入金	1,039,431	1,200,578
1年内返済予定の長期借入金	1,050,646	882,100
未払法人税等	202,511	271,355
賞与引当金	45,879	44,181
その他	557,086	406,469
流動負債合計	5,044,868	4,046,153
固定負債		
長期借入金	1,686,257	1,015,205
退職給付引当金	5,005	5,055
繰延税金負債	26,932	33,537
その他	23,976	15,857
固定負債合計	1,742,172	1,069,655
負債合計	6,787,041	5,115,809
純資産の部		
株主資本		
資本金	570,560	570,560
資本剰余金	593,383	593,383
利益剰余金	3,227,607	3,071,774
自己株式	△35,156	△35,141
株主資本合計	4,356,394	4,200,577
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,488	1,724
繰延ヘッジ損益	△9,991	△4,419
為替換算調整勘定	△5,958	8,602
評価・換算差額等合計	△14,460	5,907
少数株主持分	41,752	313
純資産合計	4,383,686	4,206,798
負債純資産合計	11,170,727	9,322,608

(2) 四半期連結損益計算書

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年1月21日 至平成21年7月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年1月21日 至平成22年7月20日)
売上高	7,482,000	7,080,729
売上原価	4,181,981	3,979,385
売上総利益	3,300,019	3,101,343
販売費及び一般管理費	2,667,986	2,583,862
営業利益	632,032	517,480
営業外収益		
受取利息	6,535	510
為替差益	17,961	—
受取手数料	19,341	26,935
その他	17,963	5,887
営業外収益合計	61,802	33,333
営業外費用		
支払利息	46,710	44,725
為替差損	—	14,036
その他	9,244	6,617
営業外費用合計	55,955	65,379
経常利益	637,879	485,435
特別利益		
貸倒引当金戻入額	4,804	—
固定資産売却益	—	25
特別利益合計	4,804	25
特別損失		
固定資産除却損	1,743	5,554
固定資産売却損	57	—
投資有価証券評価損	75	3,071
関係会社出資金評価損	2,880	—
貸倒引当金繰入額	32,220	—
特別損失合計	36,976	8,626
税金等調整前四半期純利益	605,707	476,834
法人税、住民税及び事業税	275,641	206,656
法人税等調整額	△65,696	△11,393
法人税等合計	209,945	195,262
少数株主利益	28,438	7,020
四半期純利益	367,322	274,552

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年1月21日 至平成21年7月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年1月21日 至平成22年7月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	605,707	476,834
減価償却費	90,886	79,164
のれん償却額	5,255	5,331
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	22,327	△29,464
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△1,435	1,697
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	69	△50
受取利息及び受取配当金	△6,641	△1,316
支払利息	46,710	44,725
為替差損益 (△は益)	△3,940	6,309
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,569,320	△1,128,966
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△56,151	△150,307
その他の資産の増減額 (△は増加)	7,773	△101,900
仕入債務の増減額 (△は減少)	990,423	945,101
その他の負債の増減額 (△は減少)	348,638	136,603
その他	△31,679	24,137
小計	448,624	307,900
利息及び配当金の受取額	6,641	1,316
利息の支払額	△47,855	△45,741
法人税等の支払額	△80,317	△281,183
営業活動によるキャッシュ・フロー	327,093	△17,707
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△32,629	△61,348
無形固定資産の取得による支出	△3,269	△72,103
投資有価証券の取得による支出	△30,280	△192
子会社株式の取得による支出	△24,000	—
短期貸付けによる支出	△13,757	△15,000
短期貸付金の回収による収入	67,526	27,832
その他	15,034	△2,400
投資活動によるキャッシュ・フロー	△21,375	△123,211
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	430,334	240,708
短期借入金の返済による支出	△468,351	△326,939
長期借入れによる収入	700,044	1,425,802
長期借入金の返済による支出	△621,682	△586,212
少数株主からの払込みによる収入	10,757	35,000
配当金の支払額	△76,320	△118,719
その他	△1,148	△1,861
財務活動によるキャッシュ・フロー	△26,366	667,779
現金及び現金同等物に係る換算差額	7,454	△14,862

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年1月21日 至平成21年7月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年1月21日 至平成22年7月20日)
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	286,806	511,997
現金及び現金同等物の期首残高	1,386,677	1,563,523
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,673,484	2,075,521

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。